

令和 5 年度町民ワークショップアンケート概要(第 1 回、第 2 回)

第1回 2023 年 12 月 2 日(土)10 時～ 23 人 河合町立文化会館(まほろばホール)

第2回 2024 年 3 月 3 日(土)10 時～ 21 人 河合町役場

第 1 回アンケート内容自由記述

- 1 主催者側に「教えてやる」意識が強く感じられた。もっと参加者の意見発表、意見交換の時間が必要と感じた。
- 2 開催ありがとうございました。今回の意見等を集約して、次回の話すテーマにつなげていただければと思います。
- 3 他の方々の意見が聞けて勉強になりました。まちづくりに生かしていきたいです。
- 4 このような話し合いをもっと多く持って、いろいろな方達と知りあえる機会が重要だと思います。その場所からまちづくりの発達につながっていくと思います。
- 5 ソフト面での議論が中心となっているが、ハード面も検討する必要あり。
- 6 どうしたらもっと若い世代の方々にもまちづくりに興味を持ってもらえるのか？
- 7 全世代が集える場をどう作るか
- 8 河合町独自の電子クーポンetcの制定など他町民の方々と交流できて楽しかった
- 9 会議をまとめて書面でください。
- 10 今回、協働に必要なことが判明しました。次回から具体的な提案を！
- 11 皆さんのいろいろな意見を聞き、出席して良かったです。
- 12 すな丸の利用

第 2 回アンケート内容自由記述

- 1 楽しく考える機会をいただきありがとうございました。
今日の和気あいあいと意見を出し合っている様子(写真)をぜひInstagram、X、Facebook、Lineなどにアップしていただきたいです。
この活動が町内だけでなく他市町村へも認知されることが条例推進にもつながると思います。
- 2 条例の理念、原則について、自分自身が良く解っていなかったのもう一度冊子を見て理解を深め、次回にはもっと意見を言えるようにしたいと思います。
- 3 参加者の情報を得…情報・PR不足の感がある。条例についての理解度の温度差が感じられた。
- 4 障害者などへの配慮について、全くまとめ意見に出ていない、SDGs に関することが出ていない、との総評がありましたが、住民とはどのような状況状態の人を含む言葉に特別な言葉は不要と考えます。
相手に寄り添って協働することは当然で当たり前河合町住民は暮らしています。SDGs の言葉は期限のある目標的な言葉でどんな時代にも世代にもわかる言葉や疑義紛争が起こった場合の権利擁護に対する解決の相談窓口について記す言葉で十分だと考えています。河合町住民らしい文言で良いと考えていますので、どこか対外的な比較で優劣をつけるものではないとも考えています。河合町住民はもっとこころ広く優しい人たちが住む地域とご存じのない最後の総評、失礼な言葉だなど、まちづくりを担当している機関に対して残念な気持ちになりました。
もっと、担当する地域のことを知ってほしいです。
- 5 なるべく多くの人が参加してワークショップを開催して欲しい。